

(仮称) 守山複合施設 基本構想検討中間報告会 開催結果 (概要)

日 時 平成28年3月17日(木) 19:00~20:30
 会 場 代田区民センター 多目的室
 参加者 19名
 出席者 区職員：北沢総合支所長、北沢総合支所地域振興課長、施設営繕担当部施設営繕第二課長、障害福祉担当部障害者地域生活課長、子ども・若者部保育課長
 基本構想検討委員会委員(5名)
 設計事務所：株式会社佐野建築研究所(3名)

質疑要旨

質疑	回答
福祉作業所の搬入口付近から住宅への視線が気になるので、位置を移動してもらえないか。過去に敷地北側の畑で稲作が行なわれた際に、自宅の敷地に排水が流れてきたことがあった。	校舎3階の福祉作業所の搬入動線を考慮した結果、現在の配置にしている。目隠しの設置や畑の利用方法について、ご意見を踏まえ検討していきます。
これまで防災倉庫にボーイスカウト用具を収納していた。今後、本施設内に置かせてもらえるのか。	下北沢小学校(現在の東大原小学校)にボーイスカウトの用具を収納希望という認識であったが、下北沢小学校の計画と併せて、収納場所を検討します。
樹木や陶芸釜などは、どの程度撤去されるのか。	樹木は、基本は残せるものは残すという方針であるが、樹木医の診断等を踏まえて、検討していく。陶芸釜等、今後も使用可能かどうか扱いを検討していきます。
防災用品なども入っている町会の倉庫は、今後どこに置かせてもらえるのか。	1箇所残せる倉庫があるので(図にはゴミ置場と記載)、そこを使用するか、または、校舎1階の防災倉庫を使用するかなど、使い勝手を含めて、今後検討していきます。
敷地南西側に計画している通用口のあたりには、高圧受変電設備(以降キュービクル)がある。キュービクルはどこかに移設するのか、どうするのか。	南側道路に歩道状空地を設けなければならないことから、既存のキュービクルを撤去のうえ、新設、または移設する必要がある。場所については、今後、詳細設計のなかで検討していきます。
敷地南西側にある通用口は、どのような使い方になるのか。また、この通用口をもっと東側に動かせないか。	主に、職員の出入口を想定している。通用口の位置については、東側に動かす方向で今後検討していきます。
保育園は現在の大原保育園より規模が大きくなるのか。(定員はどれくらいになるのか)	大原保育園では現在、保育園で約70名、年度単位の預かり(定期利用保育)で約20名のお子さんをお預かりしています。移転後は定員100名程度を想定し現在よりも増やす予定でおりますが、職員確保の関係があるため、確定はしていません。

質疑	回答
撤去する予定のプールを防火水槽として利用できないのか。新設予定の防火水槽はどこに設けられるのか。	防火水槽は、既に小学校の敷地内に 1 箇所設けられている。本計画では、40 t 規模のものを新たに設置する予定であるが、配置等は今後検討していきます。
配布資料の 7 ページ、左側の既存守山小学校配置図と、右側の（仮称）守山複合施設配置計画図とでは、建物の大きさが異なり、右側の方が小さいように見えるが、実際に建物は小さくなるのか。	校舎の北側が一部増築された経緯がある。今回の計画では、法律上それらを撤去し、校舎が建設された頃の状態に戻さなければならないため、その部分については建物が小さくなります。
施設名称が（仮称）守山複合施設となっているが、いつ正式名称が決まるのか。	今後、愛称等を含めて、地域のみなさんと検討していきたいと考えています。
「守山」という名称は残してほしい。	「守山」という名称は残していきたいと考えています。
樹木は自然に朽ちてなくなるまで残してほしい。	樹木医診断のもと、樹齢・安全性等を踏まえた上で、残せるものは残していきます。
高齢者増加に対応して、身障者用駐車場を 4～5 台設けることは考えていないのか。	住宅地のため、周辺にたくさん車が入られては困るという考え方があるので、今後検討していきます。
守山小学校のメモリアルコーナーはあるのか。また、守山小卒業生が自由に使える部屋はあるのか。	部屋をどのような形で利用するか、いただいたご意見を踏まえて、今後検討していきます。
本計画についての窓口はどこになるのか。	問い合わせは北沢総合支所 地域振興課までご連絡いただきたい。
保育園が移転した跡はどうなるのか。	現在、検討しているところです。
幼稚園ではなく保育園をつくるのはなぜか。	幼稚園は充足しているため、不足している保育園の計画といたしました。
保育園の具体的な最大収容可能人数はどのくらいか。	これから園舎設計を行うので確約はできませんが、120 名程度は受け入れが可能であると見込んでおります。ただし、保育士等の人材確保が課題となります。世田谷区を含むハローワーク渋谷管内では、保育士の有効求人倍率が 17 倍（1 人の保育士に対して 17 の保育所が採用を希望している状態）を超えており、非常に厳しい状況にあります。定員については、こうした課題もふまえて、今後決定してまいります。
敷地内に置かれていた防災倉庫が撤去されるようだが、何か理由があるのか。	建築基準法などの行政手続き上、今回撤去しなければなりません。

質疑	回答
小学校の歴史は、新しい小学校に引き継がれていくべきと考えている。新しくできる下北沢小学校と（仮称）守山複合施設内に、それぞれどのような形でメモリアルを残すのか検討してほしい。	教育委員会と話し合い中で、下北沢小学校に持っていくもの、本施設に残すもの等を検討している。ご意見を踏まえ、引き続き調整していきます。
敷地北側の地域は、地盤が低く日陰になるため、雪が降ると溶けにくい。高齢者が多く雪かきができないので、これまでは小学校の主事に協力をお願いしていた。今後はどうすればよいか。	建物の維持管理は、北沢総合支所地域振興課が行います。可能な限り対応していきます。

説明会後にいただいたご意見等

世田谷消防団第 8 分団にはポンプ車などを格納している倉庫が 3 ヶ所ある。それぞれ倉庫を拠点に範囲が決まっており、出動の際、迅速に現場に駆けつけられるようになっている。守山小学校の倉庫が撤去されるそうだが、どこに消防機材が保管されることになるのか。機材の運び出しが不便になり、消火対応も遅くなるのではないか。
町会の会議室スペースを（集会施設内に）確保してほしい。
防災施設としての検討について、東大原小学校が改築中に災害が起きた場合、東大原小学校近隣の人々が新下北沢小学校（旧守山小学校校舎を仮使用）に集まると思うので、その件についても平成 30 年 4 月以降ばかりでなく、検討中の方針を聞きたかった。
代田、大原、北沢、羽根木地区は、すごい速さで高齢化が進んでおり、40 歳台以下の方が住み続けていける所ではないことを危惧している。保育園の利用も近隣の方々が利用する形にならないとすると、残念に思う。活気のある街づくりもやりつつ、賑わいのある若者世代が暮らせる環境（区営住宅や都営住宅）も用意していく必要があると考えている。保育園、福祉作業所の跡地やバスターミナル（駐車場）の上部などを利用して、若い家族連れが住まえる集合住宅が増え、（仮称）守山複合施設がいつも満室で、元気のある地区になることを希望する。
守山テラスは地域のシンボルとして利用されてきた。是非複合施設にデザインはそのままで新設してほしい。
校舎まわりの緑化・保存に努め地域で育てていく何らかの方法を考えていきたいと考えている。
地域の方の力を最大限に活用したまちづくりを、地域振興課として住民の意見や思いを良い形で支援して頂きたい。それは決して一方的なものではなく、常に「共働」するというお互いの理念に基づくところから来る相互理解によって進んでいくことを強く望む。
保育園児は既存の門扉を利用し、体育館側を通ってほしい。南西角部分の通用口については、現在の小学校の教員も門扉を利用していることから、通用口を新設しなくても不都合はないと思う。通用口を設置されてしまうと、プライバシーの面で影響が大きいため、設置しないで欲しい。
現在の高圧受電設備や倉庫が撤去されてしまうと、自宅の庭や駐車場部分が丸見えになってしまう。植栽を設置する等、プライバシーに最大限の配慮をお願いしたい。